

Selean^{*} volume 26

Kanagawa Coastal Environmental Foundation



海岸清掃事業 概要

平成 29 年度は、8 月は台風 5 号と集中豪雨により竹が大量に漂着し、9 月は海まで流れ出たそれらのごみが南風によって打ち寄せ続け、10 月下旬には連続して襲来した台風 21 号と 22 号の影響で河口域を中心にごみが大量に漂着するなど、7 月～11 月の連休前は、もれなく海岸がごみで汚れるという“財団泣かせ”の状況でした。

また、年度末の 3 月は、例年より 1 ヶ月早い春の嵐が吹き荒れ、大量のごみが漂着し、清掃作業が新年度に持ち越される海岸もありました。

緊急清掃も 16 件に及び、台風と豪雨に苦闘した一年になりました。



1 年間の海岸状況

5 月 バーベキュー (BBQ) ごみシーズンの始まり



平成 29 年度もゴールデンウィークから一気に BBQ ごみが増え始め、週末の度に大量の BBQ 関連ごみが海岸に捨てられていく状況が秋まで続きました。安価になったためなのか、一度使っただけの新品の器材がそのまま捨てられていくのが目立ちました。



5 月 ミズナギドリ大量漂着

5 月下旬に、ミズナギドリの死骸が大量に漂着しました。このミズナギドリとは、5 月から 6 月にかけてオーストラリア南東にあるタスマニア周辺から北海道の根室沖に飛来する渡り鳥で、北上していく途中で悪天候などで命を落とした個体が毎年この時期に海岸に点々と打ち上がってきます。平成 29 年度は、約 400 羽の死骸を回収しました。



7 月 漁網の漂着が目立つ

7 月は、特に三浦半島各所で漁網の漂着が目立ちました。

漁網は処理するのが非常にやっかいなごみで、まず、埋もれているモノを掘り出さなくてはなりません。そして、何よりなかなか切れません。ナタや鋸では歯が立たないので、金属なども切断できるエンジンカッターを使用して細かくして処理しました。



花火大会のごみ



夏を中心に各地で花火大会が開催され、翌日は、早朝から放置ごみの回収に追われました。

ごみの中身は、シートや飲食物の容器包装がほとんどでしたが、鎌倉の花火大会では、ダンボール製のお皿のようなものが点在していました。確認すると、これは花火の筒のフタで、花火が打ち上げられる際に周囲に飛ばされ、海岸に打ち上がるとのことでした。

8 月 雨続きの夏



8 月は、1 日から 15 日間連続で降雨を記録するなど、天候に恵まれない一月となり、神奈川県内の海水浴客数も前年を大幅に下回りました。

1 日は、河川氾濫の危険水位に達した地域で避難勧告が発令されるほどの集中豪雨となり、その影響で河川を通じて流木や竹・人工ごみが大量に海まで流れ出ました。それらは、その後吹いた陸からの北風の影響で海岸にあまり漂着せずに沖合に漂っていましたが、8 日に台風 5 号が南風を伴って日本列島を縦断したことで、一気に海岸に漂着しました。

このため横須賀市、三浦市、平塚市、大磯町、二宮町、小田原市、真鶴町、湯河原町の各海岸で緊急清掃を実施しました。緊急清掃対象以外の海岸にもそれなりにごみが上がっており、お盆休みを目前と迫った中ですぐにでも清掃に取りかかりたかったのですが、台風が通過した翌日の 9 日はまだ波が高く清掃が出来ず、お盆の週末前に清掃できたのが、10 日の一日のみという厳しい作業スケジュールになりました。作業員やごみ運搬車両をフルに増やし、なんとか一日で、快適な夏の海岸へと復旧させることが出来ました。

8・9月 竹が多い



8月から9月にかけて台風やゲリラ豪雨などによって漂着した海岸ごみは非常に竹が多かったのが特徴でした。相模湾沿岸だけでなく、東京湾側でも同様で、出所ははっきりしませんが、その処理にとっても手間取りました。長い竹は短く切断して処分場に持ち込まなくてはなりません。自治体によっては50cm程度に切断するよう求められます。細い流木などは容易に折れますが、竹は粘りがあるため簡単

には折れず、目の細かいのこぎりでひたすら切るしかありません。また、枝が張っているため、積み込む際にかさばり、効率よくたくさんの量を積むことが出来ません。さらに、三浦半島の岩礁地帯に大量に漂着した竹は、地形の関係で人力で運び出さなくてはならず、ブルーシートで包んだり、紐で縛って背負子で担いだりと、非常に手間のかかった作業となりました。

10月 台風21・22号連続襲来



今年度、一番海岸に影響を与えたのが、10月に連続して襲来した台風21号と22号でした。10月23日に日本列島を縦断した台風21号では、波が海岸の背後地まで及び、特に奥行きのある海岸にごみが大量に漂着しました。これで終わりかと思ったら、さらに1週間後の10月29日に

も台風22号が襲来しました。この台風により、前回の21号で壊された海岸の構造物の残骸に新たなごみが加わって、それらが海岸中に瓦礫のように散乱しました。11月上旬の3連休を控え、来遊客が多い海岸から清掃を実施しましたが、あまりのごみの多さに、年内で片付けることが出来ずに清掃が越年する海岸もでてしまいました。

3月 春の嵐襲来



毎年、4月に来ることが多い春の嵐が、今年度は、例年より1ヶ月早く3月1日、5日、8日・9日と連続して襲来しました。その影響で、鎌倉市滑川、藤沢市境川・引地川、平塚市金目川、小田原市酒匂川等の河口部周辺の海岸を中心に人工ごみ混じりの木くずが大量に漂着しました。

しかし、今年度は雨続きの8月、10月の台風21・22号の漂着ごみへの対応で、3月までに清掃予算をほとんど使い切っていたため、漂着ごみから人工ごみを除く程度の対応しか出来ず、多くの海岸に大量のごみを残したまま、清掃を新年度へ持ち越す結果となってしまいました。

3月 シカ漂着



3月16日、藤沢市片瀬西浜にシカの死骸が漂着しました。個体に傷みが少なく、キレイな状態であり、神奈川県立生命の星・地球博物館から「すぐにも回収を行い動物標本にさせて欲しい」との連絡を受けたので、引上げと積み込みの協力をしました。

3月 江の島 西浦のごみの舟出し

上記、春の嵐により、藤沢市江の島にある西浦にも大量のごみが漂着しました。年度末で清掃費を使い切り、対応出来ないでいる中、藤沢市の職員の方々が出動してくれました。西浦は、河口の真向いに位置するため、小さな浜ながら大量のごみが漂着します。また、車も入れないため、ごみの搬出には、舟を使用するしかありません。西浦と河口の港側に人員を配置し、ごみを満載にした舟を何往復もさせながら、大量のごみを運び出しました。



財団直営部隊における海岸ごみ清掃事業



7月から10月末までの67日間、4人組1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に取り組みました。スーパー作業員と呼ばれる直営部隊は、ごみ量が多い場所や優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、80,545kgのごみを回収することができました。

海岸の TOPICS

台風 21 号 高潮・高波による海沿いの構造物への被害



▲波でえぐり取られたサイクリングロード



▲アスファルトがはがれた駐車場



▲波によってはがれた路面のレンガと押し流された車両



▲壊れた漁師小屋

10月23日に襲来した台風21号では、高潮と高波によって、海岸沿いの構造物に大きな被害が出たのが特徴でした。西湘バイパスが一部崩落したことをはじめ、江の島にある駐車場では波が護岸を越えて襲ってきて、その影響でアスファルトがはがされてしまったり、藤沢市から茅ヶ崎市にかけて海岸沿いに伸びているサイクリングロードは土台の砂ごとえぐり取られてしまったりと、ここまで波が来たのかと驚くほど、波打ち際から遠く離れた構造物にまで甚大な被害をもたらしました。

海岸のごみ箱への家庭ごみ投入が目立ちます



2020年の東京オリンピックのセーリング競技が江の島を拠点に実施されるにあたり、神奈川の海岸への注目度は高まっています。そんな神奈川のいくつかの海岸には、ごみ箱が設置されていますが、近頃、そこに家庭ごみが投入されるケースが目立ってきました。

見た目ですと分けてみたのが上の写真。来遊客のごみ（左）と家庭ごみ（右）の比率は約半々という結果になりました。

空き瓶、空き缶、食べカス、引っ越しごみ等々、何と多くの

家庭ごみが捨てられていることでしょうか！

今から54年前、初めてのオリンピックの開催を前に、東京ではマナーアップ大作戦と町内の木製ごみ箱の撤去作業が実施され、学校教育や道路等の環境整備と相まって「街」は見違えるほどキレイになりました。

再び東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるまであと2年。今回は「街」。今度は「海岸」の番です。家庭ごみの出し方のルールを守ることがキレイな海岸維持の第一歩。もう少し頑張ってみませんか？

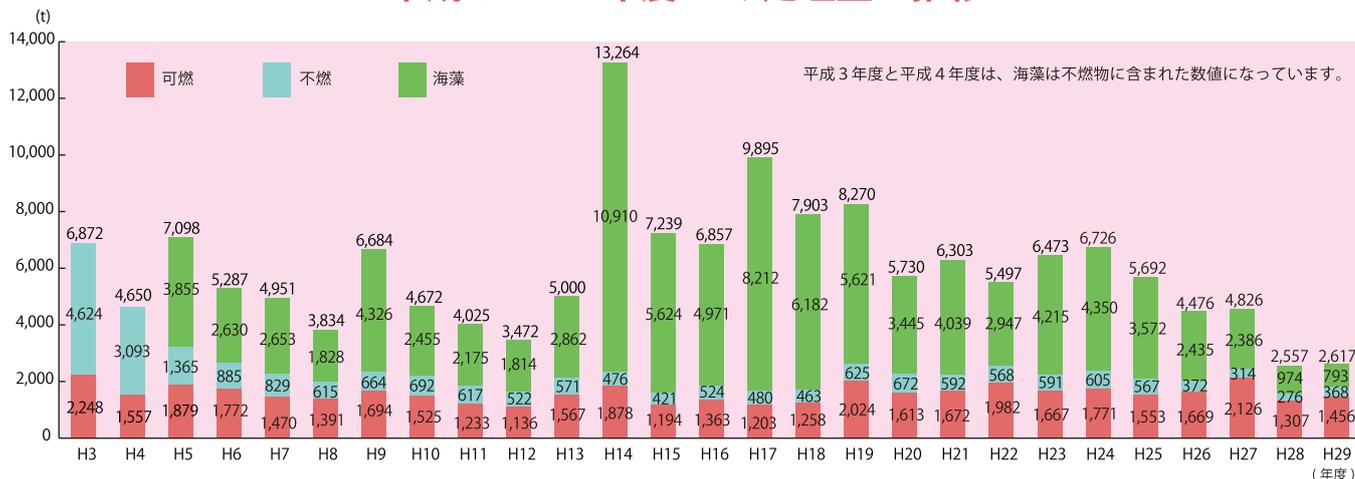
※美しいなぎさを未来へ『共同宣言』（2011.10.29）県知事と沿岸13の市長・町長さんが「汚れたからキレイにする」から「汚れない」海岸を目指して取り組んでいます。

平成 29 年度 海岸清掃ごみ等処理量集計表

(単位：kg)

区分	通常清掃			緊急清掃			合計		
	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻
横須賀市	45,390	36,530	3,135	2,570	1,750	0	47,960	38,280	3,135
三浦市	28,488	30,237	600	0	19,320	0	28,488	49,557	600
葉山町	45,715	7,975	5,600	1,180	340	0	46,895	8,315	5,600
逗子市	33,560	6,285	16,400	0	340	0	33,560	6,625	16,400
鎌倉市	88,010	14,065	686,000	770	2,090	0	88,780	16,155	686,000
藤沢市	352,755	92,265	78,400	6,770	4,370	0	359,525	96,635	78,400
茅ヶ崎市	67,497	91,423	0	23,990	8,040	0	91,487	99,463	0
平塚市	205,295	11,445	0	151,190	6,090	0	356,485	17,535	0
大磯町	117,185	6,445	375	137,710	13,040	0	254,895	19,485	375
二宮町	7,455	1,425	2,117	8,435	3,020	0	15,890	4,445	2,117
小田原市	41,545	7,625	0	63,560	1,710	0	105,105	9,335	0
真鶴町	12,380	330	100	8,770	525	0	21,150	855	100
湯河原町	1,650	1,712	9	3,670	30	0	5,320	1,742	9
合計	1,046,925	307,762	792,736	408,615	60,665	0	1,455,540	368,427	792,736

平成 3 ～ 29 年度 ごみ処理量の推移



美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。春と秋に、県下の海岸の一斉クリーンアップを開催しました。さらに学校の総合学習の受入れ（学校キャラバン）や企業研修の受入れも積極的に行うほか、様々な場所で美化啓発パネルを展示したり、アパレルブランドと連携してショッピングモールでワークショップを実施したりと、より幅広い方々に海岸美化を呼びかけました。



春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップ実施結果

春 ビーチクリーンアップかながわ 2017

春の県下一斉ビーチクリーンアップ「ビーチクリーンアップかながわ」を各市町で開催されるごみゼロクリーンキャンペーンに合わせて、ボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

ビーチクリーンアップかながわ 2017 結果概要

実施期間	平成 29 年 5 月 7 日～平成 29 年 6 月 4 日	
開催場所	神奈川県内 40 会場	
参加人数	12,077 名	
ごみ量	可燃	17,542 kg
	不燃	6,118 kg
	合計	23,660 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市・小田原市 茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町・大磯町 二宮町・真鶴町・湯河原町	
後援	神奈川県	
協力	各ボランティア団体	



秋 国際海岸クリーンアップ 2017

一般社団法人 JEAN を中心に実施されるごみ調査を兼ねた海岸清掃に合わせて、県下一斉ビーチクリーンアップ「国際海岸クリーンアップ」をボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

国際海岸クリーンアップ 2017 結果概要

実施期間	平成 29 年 9 月 2 日～平成 29 年 10 月 7 日	
開催場所	神奈川県内 19 会場	
参加人数	1,559 名	
ごみ量	可燃	2,358 kg
	不燃	2,057 kg
	合計	4,415 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	一般社団法人 JEAN	
後援	神奈川県・横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市 小田原市・茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町 大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町	
協力	各ボランティア団体	



環境学習の推進

内 容	件 数	人 数
学校キャラバン	69 件	4,927 名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	64 件	1,278 名
教職員体験研修の受入れ	1 件	1 名
中学生等の職業体験の受入れ	4 件	27 名
大学生のインターンシップの受入れ	1 件	2 名

夏休み期間に子供たちの環境学習の受け皿となる「おはようビーチクリーン」を企画しました。また、学校の総合学習の受入れ（学校キャラバン）だけでなく、企業の環境貢献活動等の受入れも積極的に行い、1,200 人を超える社会人に海岸美化を訴えました。さらに、中学生の職業体験だけでなく、大学生のインターンシップも受入れ、実践的な仕事体験を通して、財団の業務や海岸美化への理解を深めてもらいました。

おはようビーチクリーンスタッフ研修

夏休み期間の 8 月 11 日に茅ヶ崎市汐見台海岸で、地元の子どもたちを中心に自治会の方々や企業のご協力を得て「おはようビーチクリーン」を企画しましたが、雨天のため中止になりました。そのため、急遽、スタッフとして参加予定だった 15 名に、財団本部事務所で研修を実施しました。海岸ごみについての講義だけでなく、ごみ袋のセット作業など実務的な研修内容になりました。



学校キャラバン [湘南学園中学校の取組み]



10 月 30～31 日の 2 日間、湘南学園中学校に学校キャラバンに行ってきました。

今回の活動は、中学 2 年生が「課題解決型総合学習」の一環として海岸ごみ問題に取り組んだ中で発案されたもので、初日は、財団職員から 2 クラス合同で海岸美化に関する講義を受け、海岸ごみに関する理解を深め、翌日は、実際に海岸に出てビーチクリーンを実施しました。

もう 1 クラスは、クラウドファンディングを活用し、地元、宝製菓株式会社の協力の下、オリジナルのパッケージで「ごみを出さない社会を目指すメッセージ」を発信していく『お菓子の go go プロジェクト!』により製品化した商品をショッピングモールで生徒自ら販売。売上の一部を宝製菓から、また、各クラスからもそれぞれ、海岸美化に役立ててほしいと寄付いただきました。ありがとうございました。

企業等の環境貢献活動等の受入れ [三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社の取組み]



5 月 23 日に、三菱インフォメーションシステムズ株式会社の研修を担当しました。

平成 20 年より CSR 活動および新入社員研修の一環として実施され、約 80 名の新入社員が、13km 以上歩くことをノルマに配属先である大船駅近くの湘南システムセンターより約 5km 離れた腰越海岸までチームに分かれて徒歩で移動し、そこから江ノ島までの約 1.6km に及ぶ海岸の清掃に取り組みました。

教職員体験研修の受入れ

8月14～16日の3日間、神奈川県教育委員会の教職員体験研修を1名受入れました。

財団職員と一緒に海岸をパトロールし、ごみの漂着状況を確認したり、清掃したりしながら、海岸ごみの実態の認識を深めていただきました。



中学生の職業体験の受入れ [藤沢市立藤ヶ岡中学校]



11月21日、藤沢市立藤ヶ岡中学校2年生4名の職業体験を受入れました。

午前中は、財団職員と一緒に、実際に海岸に出て清掃作業に従事し、午後は、本部事務所でカレンダーの包装作業などを体験しました。

大学生のインターンシップの受入れ [桜美林大学]

3月1日～3日・5日・8日の5日間、桜美林大学から2名のインターンシップ生を受入れました。

2名は、「交流会」(p12参照)をコアイベントに様々な業務を体験し、最終日にその体験をまとめて、プレゼンテーションしました。



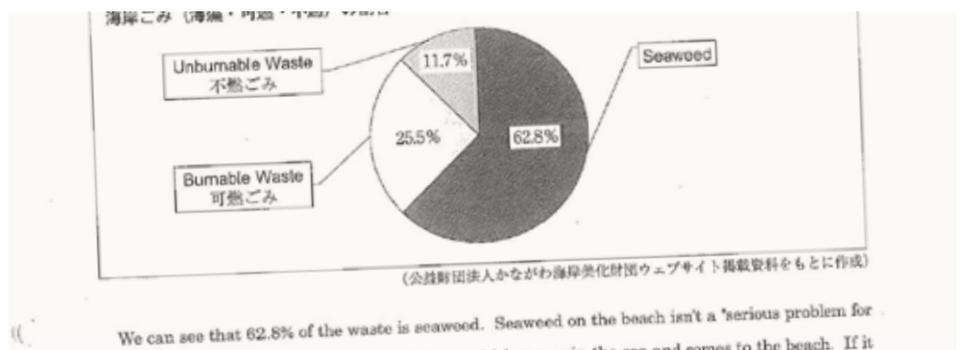
研究機関との連携



11月11日、神奈川県立環境科学センター開催の環境学習リーダー養成講座の一環で、海岸ごみの実態と取り組みについて講演してきました。環境学習の担い手となる方たちが対象だったため、より具体的な海岸ごみの現状と対策などを話しました。

神奈川県公立高校入試問題(英語)に海岸ごみが登場

2月に実施された平成30年度神奈川県公立高等学校の入学試験の英語の問題に、海岸ごみを取り上げられました。長文読解問題で、財団のwebサイトに公開している海岸ごみの内訳データを利用したグラフが使用されているだけでなく、長文自体が海岸ごみについて解説している内容になっていました。



海岸美化キャンペーンの実施

海岸ごみって何だろう？パネル展の実施



展示期間	展示場所	協力団体
平成 29 年 5 月 11 ~ 18 日	茅ヶ崎市役所	茅ヶ崎市
平成 29 年 8 月 1 ~ 15 日	秩父宮記念体育館	公益財団法人藤沢市みらい創造財団
平成 29 年 9 月 6 ~ 20 日	秋葉台文化体育館	公益財団法人藤沢市みらい創造財団
平成 29 年 10 月 13 ~ 20 日	平塚市役所	平塚市
平成 30 年 2 月 20 日 ~ 3 月 6 日	藤沢市役所	藤沢市

茅ヶ崎市、平塚市、藤沢市の庁舎や体育館で「海岸ごみって何だろう？」パネル展を実施しました。

街頭美化キャンペーンの実施

市町名	場所	実施日
茅ヶ崎市	サザンビーチ	平成 29 年 7 月 16 日
藤沢市	小田急 片瀬江ノ島駅前	平成 29 年 7 月 17 日
平塚市	湘南ベルマーレひらつかビーチパーク by shonanzoen	平成 29 年 7 月 17 日
大磯町	大磯海水浴場・漁港・駐車場	平成 29 年 7 月 17 日
二宮町	JR 二宮駅周辺	平成 29 年 7 月 29 日

海の日を中心に「湘南海岸をきれいにする会」と連携し、関係機関と共に、駅前等で、啓発資料を配布してごみの持ち帰りを呼びかけました。



海岸美化ボランティアツアーの実施

実施日	団体名	人数
平成 29 年 6 月 13 日	CREATIVE SECONDARY SCHOOL(HONG KONG)	10 人
平成 29 年 9 月 21 日	栃木市立栃木第四小学校	6 人



旅行会社が企画する観光ツアーと連携したビーチクリーンアップを実施しました。6月13日、香港から来日した中等学校生が藤沢市片瀬東浜でビーチクリーンアップしてくれました。

観光協会との連携

公益社団法人藤沢市観光協会と連携し、主要駅 4ヶ所でリーフレットを配布し海岸美化を呼びかけました。

実施日	場所
平成 29 年 6 月 22 日	JR 横浜駅
平成 29 年 6 月 22 日	小田急 新宿駅
平成 29 年 7 月 5 日	JR 浦和駅
平成 29 年 7 月 5 日	JR 上尾駅



(写真提供：公益社団法人藤沢市観光協会)

美化啓発ポスターの掲出



掲出場所	掲出協力企業
西部駐車場・中部駐車場・片瀬海岸地下駐車場	株式会社湘南なぎさパーク
逗子海岸ロードオアシス・下浦海岸駐車場	神奈川県道路公社
西湘バイパス 西湘 PA (下り)	中日本高速道路株式会社
ボートハウスてらがさき・海岸出入口護岸	大磯町

海岸沿いの駐車場等の施設に、管理団体の協力を得て、美化啓発ポスターを掲出しました。

イベント出展



実施日	イベント名	場所
平成 29 年 7 月 29 日	横浜 F マリノス夏休み工作教室	日産スタジアム
平成 29 年 8 月 13 日	ジェイコム湘南夏のスポーツフェス	テラスモール湘南
平成 29 年 9 月 2 ~ 3 日	グローバルワーク Smile Blue Project	ららぽーと湘南平塚
平成 29 年 12 月 2 日	グローバルワーク Smile Blue Project	ららぽーと湘南平塚

サッカーチーム、アパレルブランド等が主催するイベントで写真たてづくりなどのワークショップを実施しました。

美化団体支援事業 概要

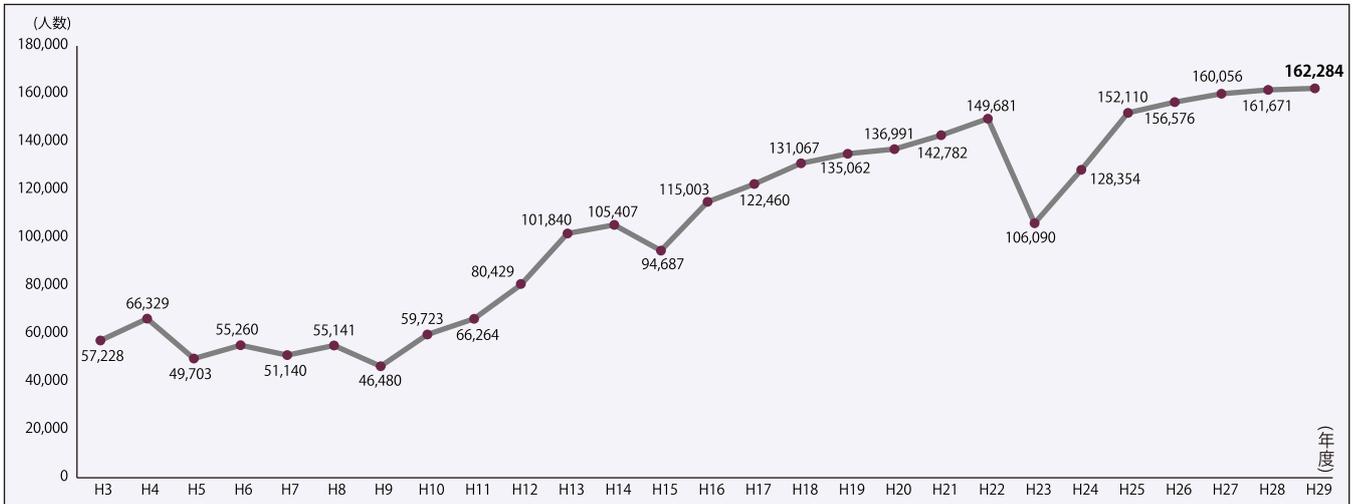
海岸清掃ボランティアに対し、ごみ袋の提供・清掃用具の貸出・ごみの回収等の支援を実施しました。ボランティア数は、前年度より 613 人増えました。また、海岸や河川等において美化活動を実施しているボランティア団体や企業・学校・関係行政機関を対象に、「海岸美化団体等交流会」を開催し、課題の共有や美化団体相互の交流を図りました。



(写真提供：学校法人湘南みどり学園 日本ガーデンデザイン専門学校)

海岸清掃ボランティア参加者数

海岸清掃ボランティア参加者の推移 (平成 3 ～ 29 年度)



海岸清掃ボランティア参加者の内訳 (平成 29 年度と平成 28 年度)

年度	平成 29 年度			平成 28 年度		
	件数	参加者数	割合 (%)	件数	参加者数	割合 (%)
地域団体	85	22,355	13.8	93	25,275	15.6
環境団体	150	22,224	13.7	173	21,596	13.4
学校・教育	109	13,118	8.1	115	12,880	8.0
行政	21	16,083	9.9	16	14,430	8.9
企業等	250	20,160	12.4	236	20,881	12.9
マリン	258	55,726	34.3	190	54,776	33.9
その他	349	12,618	7.8	313	11,833	7.3
合計	1,222	162,284	100.0	1,136	161,671	100.0

定期清掃と随時清掃 (平成 29 年度と平成 28 年度)

年度	平成 29 年度		平成 28 年度	
	件数	人数	件数	人数
定期清掃	127	50,192	126	49,952
随時清掃	1,095	112,092	1,010	111,719
合計	1,222	162,284	1,136	161,671

海岸美化団体等交流会を開催



3月3日、神奈川県藤沢土木事務所汐見台庁舎で海岸美化団体等交流会を開催し、81団体・141名の参加がありました。交流会では、2010年千葉国体のセーリング競技 成年女子 SS級で優勝された庄崎賀絵さんから「SAILING! COMING! ~セーリング競技とその魅力~」と題し、競技者目線からセーリングの基本からその魅力などについてご講演いただきました。続き

て、長年海岸美化活動に取り組まれているボランティア団体・企業・学校に感謝状を贈呈し、記念品として各団体が活動している海岸の砂で作ったオリジナルの砂時計を贈呈しました。次に、湘南クリーンエイド倶楽部の五十嵐さんからビーチクリーン駅伝などの活動報告をしていただきました。最後の懇親会は、新たな繋がりが生まれる場となりました。

ボランティア団体等の表彰について

公益財団法人かながわ海岸美化財団 感謝状

長年にわたって海岸美化に取り組んでいる団体・企業・学校とごみ袋等をご協賛いただいた企業等に感謝状を贈呈しました。

贈呈先

区分	団体名
ボランティア活動	Alohappy Beach Yoga & Beach clean
	株式会社スキムワン
	フリードパワー サーフィンクラブ
	小田急電鉄株式会社
	日本労働組合総連合会 神奈川県連合会 湘南地域連合
	ジャパンウェルネス株式会社
	横須賀市立久里浜小学校
	大磯町立国府中学校
	神奈川県立小田原東高等学校
	宗教法人日本聖公会 横浜教区 聖マルコ幼稚園
協賛	湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	江の島ピーエフアイ株式会社
	テラサイクルジャパン
	リコージャパン株式会社
	株式会社門倉組
	神奈川トヨタ自動車株式会社
	マルイグループ福祉会
	ジョンソンコントロールズ株式会社
株式会社FCC	
プロジェクトC	
株式会社クオカード	
日本サニパック株式会社	
日本たばこ産業株式会社 神奈川支社	
公益財団法人 小田急財団	

県の各表彰

県からの依頼を受けて、財団が推薦させていただき、多くのボランティア団体が各表彰を受賞されました。

表彰名と受賞団体

神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰 腰越地区五町内会（浜上・神戸・土橋・中原・下町）
神奈川県 湘南地域県政総合センター所長表彰 サーフ90藤沢ライフセービングクラブ クリスタルウェーブ（平塚サーフィンチーム）
神奈川県 県西地域県政総合センター所長表彰 特定非営利活動法人 国府津の海きれい研究会

感謝状記念品 砂時計について

ボランティア活動の感謝状では、各団体が活動している海岸の砂で作ったオリジナルの砂時計を記念品として贈呈しています。



美化財団へのサポートについて

平成 29 年度も、会員として、海岸美化募金として、物品協賛や寄付金としてなど、様々な形で多くの個人、企業・団体様にサポートいただき、海岸清掃ボランティアへのごみ袋・軍手の提供や美化啓発イベントなどを実施することができました。
ありがとうございました。

財団では、随時、海岸美化募金や会員、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。皆様からのお声かけをお待ちしております。



マルイグループ福祉会 園井さん(写真左)と当財団代表理事(写真右)

会員の状況

会員別一覧 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分		会員数	口数
法人・団体	10 口以上 (特別法人・団体会員)	21	210
	1~9 口	52	59
個人		174	338

新規会員 (平成 30 年 3 月 31 日現在/順不同)

区分	法人・団体名
特別法人・団体	レモンガス株式会社 株式会社カネタ
	株式会社長生運送 宝製菓株式会社 Boon Buddies
個人	42 人

海岸美化募金の募集

『to the sea』をコンセプトに、12 ヶ月プラス表紙の計 13 枚で、財団が清掃している 13 市町の海へ行きたくなる景色を月替わりで楽しめるカレンダーを作成しました。
このカレンダーは会員特典のほか、海岸美化募金にご寄付いただいた方にもお配りし、370,600 円の募金をいただきました。



協賛の状況

協賛一覧 (平成 30 年 3 月 31 日現在/順不同)

区分	法人・団体名
物品協賛	公益財団法人小田急財団 日本サニバック株式会社 日本たばこ産業株式会社 神奈川支社 湘南藤沢市民マラソン実行委員会 有限会社永塚製作所
	リーバイ・ストロウス ジャパン株式会社 江の島ピーエフアイ株式会社 (新江ノ島水族館) 株式会社クオカード テラサイクルジャパン リコージャパン株式会社 株式会社門倉組 神奈川トヨタ自動車株式会社 マルイグループ福祉会 ジョンソンコントロールズ株式会社 株式会社アダストリア 株式会社 FCC 株式会社湘南なぎさパーク 湘南学園中学校 2 年 B 組・D 組・E 組 宝製菓株式会社 プロジェクト C 株式会社ジェイコム湘南 鎌倉学園中学校 積水ハウス株式会社 神奈川カスタマーセンター 横浜銀行 横浜バンクカード
	寄付金

会員会費や当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。

企業サポーター紹介 | 日本サニパック株式会社

財団は、様々なカタチで多くの企業・団体様等からサポートを受けています。そんな『企業サポーター』の中から、これまで 50 万枚以上のごみ袋をご協賛いただいている日本サニパック株式会社の取組みを紹介します。

ポリ袋のトップメーカーゆえ、そのごみ袋は使いやすいとボランティアに大好評。持ちやすく、可燃・不燃とはっきり色違いで記載してあって分かりやすいだけでなく、10 枚ごとに小分けにしてあり、発送作業もスムーズに行え、随所に工夫が施されています。

今回は、ご担当の榎本さんと村山さんにお話をお伺いしました。



日本サニパック株式会社 村山さん（写真右）と榎本さん（写真左）

財団にごみ袋をご協賛いただくこととなったきっかけはどんなことでしょうか？

村山) 新たに CSR 活動を積極的にやろうとなったとき、ごみ袋メーカーである当社はやはりごみ袋で何か役に立てることはないかと考えました。海に関連するところを探したところ、母体がしっかりしていて規模が大きく、広域で継続的に活動している美化財団さんとパートナーシップを組むことが一番だと考え、2016 年に連絡をさせていただきました。

また、私自身が海の近くに住んでおり、財団が海岸清掃している様子を目にすることが多かったことも決め手の一つでした。

御社の環境への取組みを教えてください。

村山) 我々の製品は人口換算すると日本で約 3000 万人の方に使用していただいております、3000 万人分のごみ処理のインフラを担っているという責任は常に意識して行動しています。ごみ袋の製造においては、環境に負荷がかからないような薄



くても丈夫で破れないものを製造し、化石燃料をなるべく使わないような商品開発を心がけています。

環境問題で常に槍玉に上がるレジ袋ですが、あまり知られていませんがごみ袋とレジ袋の業態はまったく違い、当社がごみの回収・処理用に販売されるごみ袋を製造しています。しかし同じプラスチックの袋を作らせていただいているということで、社会的な責任の一端を感じ、製品化や処理の仕方まで気を配る商品開発をしていかなければいけないと強く感じております。

また、日常的な取組みとして、社用車は燃費の良いハイブリッド車を選んだり、エレベーターやエアコンを社員は原則使わないなどの小さなことの積み重ねを心がけています。

この協賛をきっかけにご自身の海への想いは変わりましたか？

村山) 協賛させていただいているごみ袋には、ハートのイラストの中に、「ココロも詰めて」と印刷してあるのですが、ごみ袋メーカーとして、何かを拾ったりつめたりする行為を直接サポートさせていただくことは非常に嬉しいです。今後も心がこもったサポートを継続的にやらせていただければと考えています。

榎本) 私は出身が埼玉なので、海を見ただけでテンションがあがります。今までは綺麗な海のイメージしかなかったのですが、今回の会社の取組みで海にもごみがあるんだということに改めて気づくことができました。

今後の取組みを教えてください。

村山) 常に 3000 万人のインフラを絶やさない、環境負荷の少ない商品開発を心がけ、社員の有志でビーチクリーンアップに参加させていただき、海岸で実際にごみ袋を使って使い勝手を考えながら来年のごみ袋の協賛にフィードバックしていきたいと考えています。

【特別法人・団体会員】

有限会社サニー
株式会社出羽商会
株式会社湘南なぎさパーク
株式会社美装
協和通商株式会社
横浜エフエム放送株式会社
湘南モールフィルテナント会
株式会社神中運輸
日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
小田急電鉄株式会社
京浜急行電鉄株式会社
株式会社フジカッター
株式会社ジェイコム湘南
株式会社ケイエムシー
リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
日本メドトロニック株式会社
医療法人社団 青海会 しんゆり青木整形外科
株式会社ガイア
株式会社アダストリア グローバルワーク・プリスポイント営業部
レモンガス株式会社
株式会社カネダ

【法人・団体会員】

辻堂ゴミゼロクラブ
「おもいやり連鎖運動」神奈川県推進委員会
特定非営利活動法人日本渚の美術協会
安藤鋼機株式会社
ダイダン株式会社 横浜支店
かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」
TSSA(ザ・サーフサーフィングアソシエーション)
西湘地域連合
グランドレイジーフェローズ
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会 青年部会
FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT
連合神奈川
湘南地域連合
公益社団法人平塚青年会議所
一般社団法人神奈川県バス協会
神奈川県農業協同組合中央会
公益財団法人神奈川県都市整備技術センター
ミキモト労働組合
公益財団法人相模湾水産振興事業団
飯金工業株式会社
岩漁業協同組合
神奈川トヨタ自動車株式会社
茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会
一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所
住友生命保険相互会社
株式会社さんこうどう
株式会社リコー
神奈川県内広域水道企業団
社会福祉法人伸こう福祉会
株式会社グリーンアップル
株式会社ストリームグラフ
湘南サンス
スブラッシュトイズ鎌倉
JAMBO International Center
公益財団法人藤沢市みらい創造財団
有限会社椿建設
一般財団法人横須賀西部水産振興事業団
公益社団法人大磯町観光協会
建設廃棄物協同組合
一般社団法人横須賀市観光協会
公益社団法人藤沢市観光協会
株式会社ニューフレアテクノロジー
公益財団法人神奈川県公園協会
一般社団法人神奈川県建設業協会
一般社団法人茅ヶ崎市観光協会
一般社団法人平塚市観光協会
株式会社ヤチヨ
江ノ島電鉄株式会社
株式会社社長生運送
宝製菓株式会社
Boon Buddies
(順不同)

【行政】

神奈川県
横須賀市
平塚市
鎌倉市
藤沢市
小田原市
茅ヶ崎市
逗子市
三浦市
葉山町
大磯町
二宮町
真鶴町
湯河原町

【企業・団体等】

株式会社旭広告社
アルソア本社株式会社
大塚製薬株式会社
小田急電鉄株式会社
株式会社神奈川新聞社
キリンビール株式会社
京浜急行電鉄株式会社
相模鉄道株式会社
サッポロビール株式会社
JXTGエネルギー株式会社
株式会社商船三井
スルガ銀行株式会社
株式会社そごう・西武
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
宝酒造株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京ガス株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
三菱UFJニコス株式会社
日本たばこ産業株式会社
東日本電信電話株式会社 神奈川支店
株式会社美装
AIG損害保険株式会社
日本コカ・コーラ株式会社
株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社横浜銀行
神奈川県農業協同組合中央会
生活協同組合コープ
逗子仏教会
全国労働者共済生活協同組合連合会
(順不同)

みんなであつみをきれいにしようね♪



Solean volume 26

平成 30 年 6 月発行 企画・発行 公益財団法人かながわ海岸美化財団
〒253-0033 茅ヶ崎市汐見台 1-7 Tel 0467-87-5379 Fax 0467-87-5340
URL <http://www.bikazaidan.or.jp/> FB <https://www.facebook.com/bikazaidan>

印刷 株式会社さんこうどう
E-Mail info@bikazaidan.or.jp

supported by 【特別法人・団体会員】(順不同)

32

有限会社サニー 株式会社出羽商会 株式会社湘南なぎさパーク 株式会社美装 協和通商株式会社 横浜エフエム放送株式会社 湘南モールフィルテナント会 株式会社神中運輸 日本たばこ産業株式会社 神奈川支社 小田急電鉄株式会社 京浜急行電鉄株式会社

株式会社フジカッター 株式会社ジェイコム湘南 株式会社ケイエムシー リーバイ・ストラウスジャパン株式会社 日本メドトロニック株式会社 医療法人社団 青海会 しんゆり青木整形外科 株式会社ガイア 株式会社アダストリア グローバルワーク・プリスポイント営業部 レモンガス株式会社 株式会社カネダ